

博物館へ行こう!

海生哺乳類の王国 十勝の太古の動物たち ⑤

ちょうびるい 長鼻類

十勝からは、陸上にすむ哺乳類の化石が一カ所だけで見つかっています。幕別町忠類。長鼻類（目）のナウマンゾウとケナガマンモスです。

ナウマンゾウは、1969年に道路工事現場で発見され、全国的に有名になりました。21体の復元骨格が、全国の博物館に展示されています。同じ場所から、ケナガマンモスの臼歯（奥歯）も見つかりました。



幕別

十勝

ナウマンゾウ
肩の高さ2.9m
12万年前
更新世
(こうしんせい)



ケナガマンモス
肩の高さ3.5mくらい

4万年前
更新世
(こうしんせい)



足寄動物化石博物館 フォストリーあしよろ

指定管理者 NPO法人 あしよろの化石と自然

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 TEL 0156-25-9100 FAX 0156-25-9101

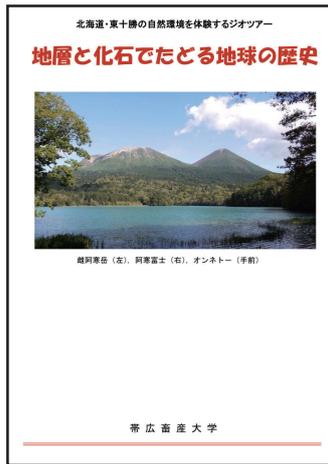
staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

<http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp> (博物館だよりpdf版あり)

No. 124

2012年 10月24日発行
(年4回発行)

○ 十勝東部の自然を紹介



帯広畜産大学主催の「北海道・東十勝の自然環境を体験するジオツアー」がおこなわれました（10月6・7日）。

解説資料集の、足寄の化石、雌阿寒岳、オンネトー、湯の滝マンガン鉱物生成、の項目を澤村館長が執筆しました。また、印刷にあたって、NPO法人あしよろの化石と自然として資金協力しました。

解説資料集「地層と化石でたどる地球の歴史」の残部があります。ご希望の方は、博物館まで。

○ 東日本大震災義援金

震災から一年半の時点で、17万2549円の義援金が集まり、足寄町社会福祉協議会を通じて東日本大震災義援金に送られました。皆様の善意、ありがとうございました。義援金の受け付けは2013年3月11日まで行う予定です。

○ マネージメント研修会（北海道博物館協会）

全道の博物館などで組織する北海道博物館協会（堀達也会長）が毎年実施する「ミュージアム・マネージメント研修会」が、当館で開かれました（9月27・28日）。テーマは「博物館を診断する」。事業評価を通じた運営を改善などを議論しました。



○ 十勝初！アンモナイト化石

十勝管内で初めてとなるアンモナイト化石が、浦幌町で発見され、当館と浦幌町立博物館、三笠市博物館の合同チームによって発掘が行われました。現在は三笠市立博物館で化石の修復と研究が行われています。



○ イベントの報告

バロックコンサート 第4回の開催

9月22日土曜日、ことしも、岩淵恵美子さんのチェンバロを中心に古楽器や歌の演奏が披露されました。103名の方にご来館いただきました。



化石教室

今年度の化石教室の一回目(27名)は天候不順のため急きょ博物館でのトドの発掘になりましたが、二回目(34名)と三回目(76名)は、現地で多くの化石を採集できました。



○ 古脊椎動物学会に職員派遣

ペンギンとクジラのバトル

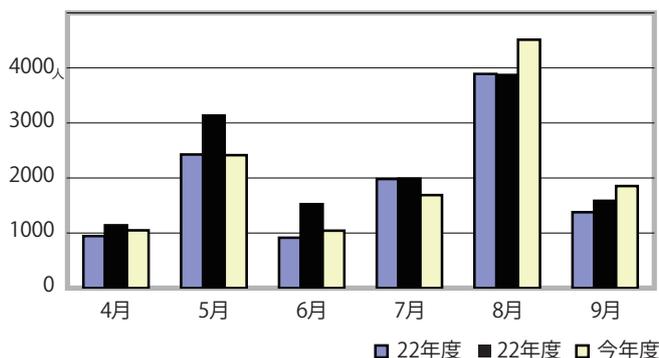
2500万年前に栄えていたホッカイドウムカシオオオミウは、いまは姿を消してしまいました。エサの魚をめぐる戦いでハクジラに負けてしまったのかもしれませんが、では、ペンギンは・・・？

この研究は、米国ノースカロライナ州で開催される古脊椎動物学会で安藤学芸員が発表しました。(10月17～21日)



○ 2012年度上半期入館者数

月別入館者数(3年間)



上半期の入館者数は、平成20年度に10,029人と最低を記録して以降、上昇傾向にあります。

入館者数は、
21年度(10,891)、22年度(11,542)、
23年度(13,245)、24年度(12,560)

平成23年度で入館者数が急に増加していますが、これは東日本大震災で東北地方への修学旅行生が道東に流れたためと考えられます。月別入館者数を見ると、震災直後の5月と6月で23年度の入館者数が増加していることが分かります。

ナウマンゾウの模型をつくろう！！

町内の幼児・小中学生限定



原型製作：近洋二

日時：平成25年1月5日(土)・6日(日)

時間：開館時間中(9:30～16:30)

料金：無料

対象：町内の幼児・小中学生のみなさん

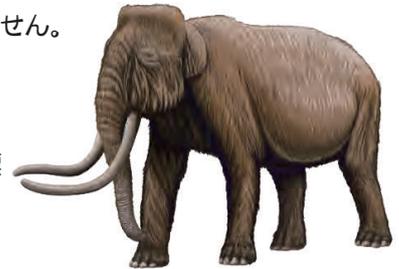
備考：保護者の方は町民研修制度を利用すると入館が無料になります。

型が5個しかないので、一度に5人までしか作れません。

ナウマンゾウとは

日本を代表する哺乳類の一つで、約40万年前から2万年前の地層から発見されます。現在までに4つの標本で復元骨格が組み立てられています。

模型は、東京日本橋の標本(メス)がモデルです。



一か月間、高確率でゲットのチャンス！

へび塚のクリスタル

じゃもんがん

蛇紋岩

stichtite in serpentine



来年は巳年です！それにちなんでミニ発掘のクリスタルに「蛇紋岩」を加えます。オーストラリア・タスマニア産。

ミニ発掘：1つ200円(何が出るかは掘ってのお楽しみ)

期間：2013年1月5日から

(1月は通常よりも高い確率で蛇紋岩が出ます。)

○ 足寄町内の小中学生の皆さんへ 冬休みのプレゼント

化石体験無料券(1回)をプレゼント！！(学校にお願いして配布します)
レプリカづくりやミニ発掘を楽しもう！

○ 町民研修のごあんない

足寄の化石をよく知っていただくことを目指して、「町民研修」を実施しています。町民研修には、展示室での研修のほかに、化石体験(1回無料・無料券とは別)が含まれます

足寄動物化石博物館の利用について

○開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館締め切り時刻)

○休館 毎週火曜日(祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日)
年末(12月30日から)・年始(1月6日まで) ※2013年は4日まで

○料金 一般 400円、小中高・65歳以上 200円
幼児は無料。足寄町内の小中学生は無料。
※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。



編集後記

1面連載の「海生哺乳類の王国 十勝の太古の動物たち」。締めくくりは、平野をかつ歩いたゾウ。それにしても、今の北海道の動物たち＝クマやシカなどの化石が一個も見つからないのは、なぜ？